



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ 上場取引所 東  
 コード番号 7483 URL <http://www.doshisha.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (氏名) 野村 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 (財務経理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	50,426	△1.0	3,769	9.1	3,882	16.7	2,645	19.6
29年3月期第2四半期	50,921	△3.2	3,455	△6.1	3,327	△12.5	2,211	△9.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,222百万円 (209.5%) 29年3月期第2四半期 1,041百万円 (△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	74.08	73.61
29年3月期第2四半期	60.73	60.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	83,675	63,784	75.0	1,729.82
29年3月期	78,659	60,255	74.8	1,657.39

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 62,725百万円 29年3月期 58,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年3月期	—	25.00	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	2.8	8,000	13.0	8,000	12.3	5,350	12.1	150.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	37,375,636株	29年3月期	37,375,636株
30年3月期2Q	1,114,408株	29年3月期	1,856,408株
30年3月期2Q	35,716,413株	29年3月期2Q	36,416,063株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済対策、日銀の金融政策により、緩やかな景気回復基調の兆しが出て来ております。その一方で、海外においては、米国の政策運営の動向や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。国内個人消費につきましては、生活関連商品における節約志向や選別消費が続いており、当社グループが身を置く流通業界におきましても、差別化を求めて業種業態を越えた販売競争が激化しており、厳しい状態が続いております。

このような状況下、「生活者視点でドゥシヤを浸透させよう！」を平成30年3月期の経営方針として掲げる当社グループでは、更なる企業価値の向上を目指してグループシナジー効果を活かし、「販促プロモーション、Eコマースと海外販売の強化」、「新たな事業の創出」、「ロジスティクス戦略の推進」に取り組み、各事業における競争優位性の確保と継続的成長の実現を図り、「ビジネスモデルの強化」と「事業基盤の強化による収益力の向上」に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高50,426百万円（前年同期比99.0%）、売上総利益13,469百万円（前年同期比103.4%）、営業利益3,769百万円（前年同期比109.1%）、経常利益3,882百万円（前年同期比116.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,645百万円（前年同期比119.6%）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの一部の売上高、利益又は損失の測定方法を変更しており、以下の前年同四半期との比較については、前年四半期の数値を変更後の報告セグメントに組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましてはP.10「セグメント情報等」をご覧ください。

#### 「開発型ビジネスモデル」

収納関連では、主力カテゴリーのスチールラック「ルミナス」シリーズの販売が好調に推移したほか、主要得意先でOEM企画を採用していただき、販売が伸長しました。また、シューズ関連では、ライセンス及びプライベートブランドのサンダルやスポーツシューズの販売が、売場丸ごと提案により得意先ごとのインスタアシェアが拡大したことに加え、新たに秋冬モデルの導入が進んだことで販売が大幅に伸長しました。

ほかにも、2期連続でグッドデザイン賞を受賞するなど好評を博した「kamome fan（カモメファン）」などの扇風機カテゴリーや幅広いラインナップで展開する氷かき器カテゴリー、均一雑貨関連における夏場向けのアウトドアグッズやインテリアの装飾雑貨などの販売が伸長しました。また一方で、価格競争激化による影響を受けたテレビ関連やLED照明関連の販売は前年同期を下回り、低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は23,935百万円（前年同期比101.9%）、セグメント利益は1,747百万円（前年同期比124.0%）となりました。

#### 「卸売型ビジネスモデル」

有名ブランドにおいては、高額時計の販売は前年同期を下回ったものの、中価格帯及びカジュアルラインの時計やバッグ、国内独占販売権を取得しているロンドン発祥のコンフォートシューズブランド「Fit Flop（フィットフロップ）」をはじめとしたブランド雑貨関連の販売が好調に推移しました。また販路においては、販促プロデュースを含めた提案営業を実施しているバッグ・時計の専門ショップや、ネット・通販業態への販売も伸長しました。

ギフト関連では、年間展開している慶弔ギフトの販売は拡販が進み好調に推移しました。中元商戦においては、新しいギフトのカタチとして、店頭販売の促進に向けて業種業態に関係なく展開可能なPOS Aカードを用いたソーシャルギフトが立ち上がりましたが、従来の食品ギフトは、好調であった前年同期をやや下回る結果となりました。ギフト以外の雑貨関連については、プライベートブランドの「ごろねこサミット」シリーズのぬいぐるみ型クッションの販売が伸長した他、日用雑貨などのスポット販売も好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は24,918百万円（前年同期比96.2%）、セグメント利益は1,861百万円（前年同期比117.1%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は63,304百万円となり、前連結会計年度末(60,342百万円)に比べ2,962百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金2,716百万円、電子記録債権1,188百万円、商品及び製品499百万円の増加及び受取手形及び売掛金1,825百万円の減少によるものであります。固定資産は20,371百万円となり、前連結会計年度末(18,317百万円)に比べ2,054百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定2,000百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、83,675百万円となり、前連結会計年度末(78,659百万円)に比べ5,016百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は10,965百万円となり、前連結会計年度末(9,459百万円)に比べ1,506百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,918百万円及び未払法人税等112百万円の増加、その他の負債484百万円の減少によるものであります。固定負債は8,925百万円となり、前連結会計年度末(8,944百万円)に比べ18百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は63,784百万円となり、前連結会計年度末(60,255百万円)に比べ3,528百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,645百万円、ストックオプションの行使による自己株式の処分1,509百万円、繰延ヘッジ損益301百万円の増加及び剰余金の配当887百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、75.0%(前連結会計年度は74.8%)となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は34,923百万円となり、前連結会計年度末より2,716百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は4,539百万円(前年同期は2,201百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,882百万円、仕入債務の増加額1,918百万円、売上債権の減少額637百万円による増加及びたな卸資産の増加額499百万円、法人税等の支払額1,087百万円による減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は2,084百万円(前年同期は121百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,025百万円による減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は251百万円(前年同期は1,177百万円の減少)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入1,416百万円による増加及び配当金の支払いによる支出886百万円による減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,207	34,923
受取手形及び売掛金	17,796	15,970
電子記録債権	1,206	2,395
商品及び製品	8,247	8,747
短期貸付金	14	24
その他	871	1,243
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	60,342	63,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,568	7,574
減価償却累計額	△3,903	△3,984
建物及び構築物 (純額)	3,665	3,590
土地	9,174	9,174
建設仮勘定	2,008	4,008
その他	2,109	2,090
減価償却累計額	△1,522	△1,587
その他 (純額)	586	503
有形固定資産合計	15,434	17,276
無形固定資産	123	127
投資その他の資産		
投資有価証券	1,525	1,758
長期貸付金	29	54
その他	1,210	1,156
貸倒引当金	△7	△1
投資その他の資産合計	2,758	2,967
固定資産合計	18,317	20,371
資産合計	78,659	83,675
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,008	6,927
未払法人税等	1,156	1,268
役員賞与引当金	64	34
賞与引当金	43	32
その他	3,186	2,702
流動負債合計	9,459	10,965
固定負債		
長期借入金	8,000	8,000
退職給付に係る負債	589	606
資産除去債務	57	58
環境対策引当金	52	56
その他	243	204
固定負債合計	8,944	8,925
負債合計	18,403	19,891

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,043	6,140
利益剰余金	51,761	53,519
自己株式	△3,777	△2,267
株主資本合計	59,021	62,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211	367
繰延ヘッジ損益	△193	107
為替換算調整勘定	18	36
退職給付に係る調整累計額	△189	△171
その他の包括利益累計額合計	△152	340
新株予約権	456	264
非支配株主持分	929	794
純資産合計	60,255	63,784
負債純資産合計	78,659	83,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	50,921	50,426
売上原価	37,898	36,956
売上総利益	13,023	13,469
販売費及び一般管理費	9,567	9,700
営業利益	3,455	3,769
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	11	13
投資有価証券売却益	—	10
債務勘定整理益	35	20
為替差益	—	41
その他	40	53
営業外収益合計	89	139
営業外費用		
支払利息	2	2
支払手数料	14	13
為替差損	194	—
その他	7	10
営業外費用合計	218	26
経常利益	3,327	3,882
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
環境対策引当金繰入額	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	3,327	3,882
法人税、住民税及び事業税	973	1,175
法人税等調整額	25	△18
法人税等合計	998	1,157
四半期純利益	2,328	2,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,211	2,645

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,328	2,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	155
繰延ヘッジ損益	△969	301
為替換算調整勘定	△223	22
退職給付に係る調整額	17	18
その他の包括利益合計	△1,287	497
四半期包括利益	1,041	3,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,027	3,138
非支配株主に係る四半期包括利益	14	84

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,327	3,882
減価償却費	211	205
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	△11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△7
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	37	43
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10
受取利息及び受取配当金	△12	△14
支払利息	2	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△464	637
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△478	△499
仕入債務の増減額 (△は減少)	965	1,918
未払消費税等の増減額 (△は減少)	172	△314
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	94	△331
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	145	129
その他	54	10
小計	4,005	5,613
利息及び配当金の受取額	12	14
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△1,813	△1,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,201	4,539
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△112	△2,025
投資有価証券の取得による支出	△9	△9
投資有価証券の売却による収入	—	10
貸付けによる支出	—	△43
貸付金の回収による収入	11	8
その他の支出	△12	△26
その他の収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121	△2,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000	—
自己株式の取得による支出	△1,048	—
ストックオプションの行使による収入	—	1,416
リース債務の返済による支出	△44	△42
割賦債務の返済による支出	△19	△15
配当金の支払額	△912	△886
非支配株主への配当金の支払額	△152	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,177	251
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	800	2,716
現金及び現金同等物の期首残高	32,993	32,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,794	34,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月27日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式742,000株の処分を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,509百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,267百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第4四半期連結会計期間より、社内の管理手法の変更に伴い、開発型ビジネスモデルに区分し測定していた一部の売上高、利益を卸売型ビジネスモデルへ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,490	25,912	49,402	1,519	50,921	—	50,921
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	4,301	4,301	△4,301	—
計	23,490	25,912	49,402	5,820	55,223	△4,301	50,921
セグメント利益	1,409	1,589	2,998	350	3,349	106	3,455

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額106百万円は、セグメント間取引の消去278百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円及びその他調整額△52百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,935	24,918	48,853	1,572	50,426	—	50,426
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	4,328	4,328	△4,328	—
計	23,935	24,918	48,853	5,901	54,755	△4,328	50,426
セグメント利益	1,747	1,861	3,609	244	3,853	△84	3,769

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△84百万円は、セグメント間取引の消去93百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円及びその他調整額△58百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。